

令和6年度 市政懇談会各質疑応答一覧

区分	件数
意見	45
要望	41
質問	4

90

担当課としての取組レベル	件数
A 提言等の趣旨に沿って措置したもの	2
B 実現に努力しているもの	62
C 当面は実現できないもの	16
D 実現が極めて困難なもの	1
E 質問等に対する回答	9

90

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
1	質問	1	何年までにどのくらい人口を増加させたいとか、具体的な数字があればお聞きしたい。説明資料を見る限りでは、まず企業を誘致し、単身世帯の方々を多く呼び込む方向性を感じ取れた。次に重要なのは、呼び込んだ人々が留まるようにし、結婚を促進することだと思う。その後は、子育て世帯への支援が必要になると思うが、すでに考えている施策やアイデアがあれば教えていただきたい。	令和6年度に改訂した「久慈市人口ビジョン」では、令和32（2050）年の目標人口を18,566人としています。この目標は、2050年に合計特殊出生率が1.8に回復し、かつ地域経済活性化による転入者の増加を見込んだ数値です。 ご提言のとおり、市外から人を呼び込むことや結婚の促進は重要であり、目標の達成に向け、浮体式洋上風力発電の推進、RE100宣言企業などの企業誘致に向け鋭意取り組んでいます。また、子育て支援については、保育料・医療費等の減免対象の拡大、きめ細やかな産前産後ケアなど、さまざまな施策を推進しています。	E	総合政策部	政策推進課
2	意見	1	専門学校や大学などの教育機関があった方がいいと思う。アルバイトを雇いたい場合に人員確保がしやすく、他の県や市外から生徒も増えると思う。	大学・専門学校など高等教育機関の誘致につきましては、若者の市外流出を抑制するとともに、学生・教職員の移住による消費の拡大や地域の活性化、学校運営に係る地元雇用の創出、さらには建設工事による経済波及効果など、多くのメリットがあると捉えております。全国的な少子化の進行を背景に、各高等教育機関においては、学生の確保に危機感を持って取り組んでいる状況ではありますが、当市の持つ魅力や立地特性と親和性のある運営方針をもった教育機関の情報にアンテナを高くし、誘致に向けた取り組みを検討してまいります。	C	総合政策部	政策推進課
3	要望	1	社会保険料の負担を減らし、手取りを増やすことが重要だと思う。手取りが増えることで消費が促進され、久慈市もさらに発展するのではないかと考える。	個人が消費に回すことができる所得の増加による経済成長は、経済活動の一つのストーリーとして十分に可能性があると考えております。 ご指摘の社会保険料のみならず、活発な経済活動を促すような政策を国策として進めることが必要ですので、市としても国の政策を注視し必要に応じ声を挙げていきたいと考えております。	C	総合政策部	政策推進課
4	要望	7	通勤で車を使っているのですが、ガソリン価格の安さを望んでいる。久慈市は家賃が高く、生活費が都市部よりもかかる印象があり、生活費が負担に感じられる。買い物などで交通費（ガソリン代）がかかり、八戸や盛岡などで買い物の方が安いのではと考えることもある。以前住んでいた地域と比べて久慈市の物価は高いと感じている。生活費が高いため、若い人たちが使えるお金が少なく、子育て世帯だけでなく、独身者への支援が必要だと感じる。	当市のガソリン価格については、全国平均と同程度ですが、盛岡市や八戸市の周辺地域はガソリン価格が非常に安い地域であるため、相対的に高く感じられる状況です。 また、家賃については、㎡当たりの家賃は県内平均より安い状況であり、沿岸5市と同程度です。その他の物価については、統計情報が人口20万人以上の市が対象となるため、客観的な比較ができない状況です。 全国的な物価上昇にともない、生活の余裕を感じる世帯が少なくなっていると捉えており、物価高騰対策に向けた各種事業を実施しています。ご提案の独身者への支援については、若者支援・結婚支援につながると捉えておりますが、他の施策と同様に費用対効果を検証し、財政状況を勘案しながら検討します。	B	総合政策部	政策推進課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
5	意見	1	説明資料に久慈の産業として農業、林業、畜産業、水産業が記載されているが、資源高や物価高の影響で大きな打撃を受けているという声を多く耳にする。農業では菌床しいたけが燃料費の高騰で採算が取れなくなったり、ほうれん草の生産を他の作物に切り替えなければならないという話を聞く。新しい洋上風力発電などの産業の育成は非常に重要だが、既存の産業にも目を向け、しっかりと支援していくことが大切だと感じている。	農業においては、物価高に対する支援として、園芸作物に対し種子や生産資材の購入費に対し補助の実施や、気候変動による品質低下や収量減少などの対応として、気候条件に適した新作物の栽培実証の補助を農協を通じ行っているほか、農業・畜産業双方において、農業機械や施設に対する補助事業を行っております。また、畜産業につきましては、公共牧場の草地造成を行い規模拡大をし、受入頭数の拡大により粗飼料経費削減に向けて取り組んでおります。今後におきましても地域農業の実情に合わせた支援に努めてまいります。 林業につきましては、原木しいたけ生産支援として、岩手県と協調して、新規参入者がいる生産組合を対象に「原木しいたけ新規参入支援事業費補助金」により、椎茸原木の確保に対して支援しております。木炭につきましても、木炭の品質管理のため、デジタル温度計、精錬計、炭切機などの付帯設備について補助を行っております。また、原木供給を行うため市有林の公売実施などにより経営安定に向け支援してまいります。 水産業につきましては、つくり育てる漁業の取組を重視しております。具体的な支援策といたしましては、これまでに、ウニ・アワビ・ナマコの種苗放流、コンブ等の餌料生産、ウニ・アワビに対する給餌、ギンザケ等の魚類養殖事業における餌料購入及び施設リース料に対しまして補助しているほか、漁業者向けに「アワビ種苗放流勉強会」及び「ワカメ・コンブ養殖出前講座」などの講習会を開催するなど、多角的な支援に取り組んでまいりました。	B	産業経済部	農政課 林業水産課
6	要望	1	ふるさと納税に関する課題として、企業単体で提供する商品だけでは限界があり、体験型の商品を提供することが重要だと考える。三鉄やあまちゃん観光、琥珀採掘、平庭、地元の美味しいものを食べ、地元の人と語り合う体験をセットにした商品を通じて、ふるさと納税に関心を持ってもらいたい。これを東京の「久慈ふるさと会」などに広めることで、久慈に帰ってくる機会が増えると思う。	体験型商品の提供について、現在の返礼品としては平庭山荘の宿泊券を用意しており、新山根温泉べっぴんの湯についても4月以降ご用意する予定としております。 ご意見のとおり地域資源を活かしたツアーも魅力ある返礼品になると考えておりますので、関係する皆様と協力して魅力ある商品を作り出し、PRして行きたいと考えております。	B	総合政策部	政策推進課
7	意見	1	アパートに住んでいたとき、久慈市の家賃は高いと感じた。2050年には人口が1万8,000人になるという予測を聞き、この人口減少を改善するには、県外からの移住者に対して家賃補助や移住支援制度を整えることで、移住しやすい環境を作ることが重要ではないかと思った。	現在、久慈市では移住者に対しての家賃補助は実施しておりませんが、「移住支援金」制度や「定住空き家購入等事業費補助金」制度を岩手県との協調で実施しております。久慈市の魅力を感じてもらうことと、移住しやすい環境を整備することは、移住・定住者の獲得に重要な要素となると考えられるため、費用対効果も含めた有効な移住支援策を検討してまいります。	B	総合政策部	地域づくり振興課
8	意見	1	地元での採用が限られ、転職が活発な中で、久慈市に人を呼び込むには家賃補助が有効ではないかと考える。家賃補助は企業が負担すべきものではあるが、市が支援することで移住・定住・就職がより促進されるのではないかと思った。	現在、久慈市では移住者に対しての家賃補助は実施しておりませんが、「移住支援金」制度や「定住空き家購入等事業費補助金」制度を岩手県との協調で実施しております。久慈市の魅力を感じてもらうことと、移住しやすい環境を整備することは、移住・定住者の獲得に重要な要素となると考えられるため、費用対効果も含めた有効な移住支援策を検討してまいります。	B	総合政策部	地域づくり振興課
9	意見	1	在宅ワークの増加に対応した移住促進策として、月に1回だけ本社に本社に出社する働き方をしている方を対象に、アパートの家賃補助を行うなどの支援策を打ち出せば、久慈の魅力を感じてもらおうきっかけになると思う。	現在、久慈市では移住者に対しての家賃補助は実施しておりませんが、「移住支援金」制度や「定住空き家購入等事業費補助金」制度を岩手県との協調で実施しております。「移住支援金」制度では、自己都合による移住で、久慈市を生活の拠点としてテレワークにより就業する方が対象となります。移住しやすい環境を整備し、久慈市の魅力を感じてもらうことは、移住・定住者の獲得に重要な要素となると考えられるため、費用対効果も含めた有効な移住支援策を検討してまいります。	B	総合政策部	地域づくり振興課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
10	要望	1	飲食店を経営する上で感じるのは、交通の問題だ。バスやタクシーの料金がもう少し安ければ、飲食店経営にも助かると感じる。	バスやタクシーなどの公共交通の運賃は、運行経費に基づき算定されたものであるため、事業者の立場を考慮すれば安くすることは容易ではないものと捉えております。このことから、ご提言への対応としては、利用者への運賃助成制度の創設が必要になりますが、市の財政状況を勘案しながら、持続可能な公共交通の形を研究・検討してまいります。	C	総合政策部	地域づくり振興課
11	意見	1	年末に地元へ帰省した際、地元の広報を見て、色使いや文字のフォント・大きさがとても見やすいと感じた。	担当部署には県内の広報誌が毎月送られてきており、記事の内容を確認しております。また、県北地区の自治体で広報協議会を組織し、定期的に広報誌の交換や職員研修、県主催の広報担当研修に参加し、他自治体の良い点を吸収する機会を設けています。 ご提案いただいたとおり、写真や記事のレイアウト、色使い、文字の字体など、見やすい広報誌の事例については把握しており、今後工夫していけるよう検討したいと考えております。縦書きで作成している広報紙面に馴染まない方もいらっしゃるかもしれません。この点についても、他の事例と比較しながら研究してまいります。	B	総合政策部	地域づくり振興課
12	要望	1	スポーツ少年団への支援や寄付をお願いしたいと考えている。この支援が地域の子どもたちにとって非常に重要であり、より多くの方々に協力していただけるよう、広報に掲載を依頼することは可能か。	イベントや活動、大会などのパンフレットの後ろに企業のコマーシャルが載っていることがありますが、協賛金をいただいて行っている事業となります。また、「じもっと基金」という制度があり、そこが窓口となって寄付を集める仕組みもございます。この基金には多くの団体が協力をお願いしており、目標金額を設定して寄付を募る活動が行われています。 広報での寄付の呼びかけに関しましては、記事の内容にもよりますが、直接的な支援をお願いするのは難しい状況となっております。しかし、スポーツ少年団の入賞や生徒たちの活躍を紹介することで、その活動を広めることは可能であり、そのように活動を紹介させていただき、より多くの方々に応援していただける環境が醸成されると考えております。企業や団体の皆様へ対して寄付を集めやすい環境が整うよう、市としても引き続き取り組んでまいります。	C	総合政策部	地域づくり振興課
13	要望	1	久慈琥珀博物館は民間運営であるが文化庁管轄の公的認可を受けた施設。街づくりや文化の発展としても活動にも取り組んでおり、博物館のPR活動にご協力をお願いしたい。	市では「白樺揺れる 琥珀の大地 海女の国」を観光キャッチフレーズに、観光振興に取り組んでいます。市内の地域資源や地域の皆さまのご協力を得ながら、教育旅行の受け入れにも力を入れており、琥珀の採掘体験やシャワークライミングなどの体験型プログラム、農家民泊の受け入れを実施しています。 また、市は三陸ジオパークの一員としてジオパークの認知度を高めるため、琥珀の歴史や文化を内外に発信し、三陸地域の魅力を広く伝える取り組みを進めております。 いただいたご提案については、市民の皆さまに琥珀の歴史や文化を知っていただく機会となるよう、企画展などのお知らせについて、全体の紙面構成の範囲内で掲載を進めてまいります。	A	総合政策部	地域づくり振興課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
14	意見	1	<p>SNS発信には、広く検索されやすい一般的なハッシュタグを活用することが重要。特に、若い市役所職員や女性職員の意見を取り入れることで、適切なハッシュタグの選定や効果的なワードの活用が可能になる。これにより、久慈市の公式情報としての信頼性を高められる。</p> <p>SNS（Xなど）を活用すれば、フォロワーが増え、広告費をかけずに発信力を強化できるため、チラシやCMとは異なる効果が期待できる。公式情報であることを証明する仕組みの導入には多少のコストがかかるが、その価値は大きい。</p> <p>インフルエンサーを起用する方法もあるが、必ずしも高額な費用をかける必要はなく、SNSに慣れた人をターゲットに試験的に運用を始めるのも一案。重要なのは、まず試してみる。挑戦する姿勢が、効果的な情報発信につながる。</p>	<p>市ではInstagramを活用し「#久慈百景」などのハッシュタグで久慈の風景や日常の魅力を発信しております。しかし、情報発信がまだ十分ではないと感じており、いただいたご意見を参考にしながら、さらに効果的な方法で情報発信に努めてまいります。</p> <p>なお、SNSを活用した情報発信には、迅速な情報の拡散や広範囲へのリーチといった多くの利点がありますが、偽情報の拡散やプライバシーの問題といったデメリットも考慮しながら、信頼性と正確性を最優先にしつつ、効果的な発信方法を引き続き検討してまいります。</p> <p>また、SNSに加えて、市民の皆様にとってより使いやすい情報提供を目指し、今年度ホームページをリニューアルいたしました。各担当部署と協力し、見やすく検索しやすいページ作りを進め、皆様にとって魅力的で快適に閲覧できるホームページを提供してまいります。</p>	B	総合政策部	地域づくり振興課 情報システム課
15	要望	3	<p>医療費助成に関して、近隣の市町村で無償化が進んでいることを踏まえ、財政状況を踏まえた話になると思うが、段階的に実施してほしいと思っている。他の市町村では受けられていた医療費助成が、久慈市に転入後に受けられなくなった経験があり、改善を望んでいる。小学生の医療費助成に関して、所得制限のため受けられなかったため、緩和策を希望している。</p>	<p>医療費の無償化について、特に子どもの医療費については、子育て世帯の負担軽減や安心して子育てできる環境整備のため、非常に重要であると捉えております。そのためには多額の財源が必要であることから、市の財政でどこまで対応できるかを検討するとともに、誰でもどこでも必要な医療を平等に受けられるよう、医療費助成の所得制限等に対する財政支援や制度の拡充について、国及び県に対して要望してまいります。</p>	B	生活福祉部	市民課
16	意見	1	<p>市役所の入り口にあるリサイクルボックスに入れられた洋服などは、どこかの国に送られるのか、または誰かに譲られるのかと思っていたが、リサイクルショップのようなところに寄付されると聞いた。リサイクルショップに寄付しても利益には繋がらないと思うので、それであれば売却して利益にするか、困っている人に無料で配布して活用するなどしてほしい。</p>	<p>現在、市に設置している古着回収ボックスで回収された洋服については、久慈広域連合で運営している久慈地区再資源化処理場に処分をお願いしております。</p> <p>以前は回収された古着を売却し、それが収入となっておりましたが、コロナ禍の影響などで経費が高騰したため、送料は差し引き、連合全体でまとめて有料で引き取っていただいている状況となっております。</p> <p>ご提言のありました回収した古着のリサイクル等の方法などにつきましては、市の利益となる方法を含め、久慈広域連合と相談しながら市としても検討してまいります。</p>	E	生活福祉部	生活環境課
17	要望	8	<p>内科や歯科医院は多くあるが、皮膚科やメンタルクリニックが不足している。特に市内での皮膚科の受診は限られ、八戸の皮膚科に通っている人も多い。市内に皮膚科があれば非常に助かる。出産に関して、久慈病院では正常分娩のみの対応で、異常分娩などの場合は二戸まで行かなければならず、不安を感じる若い世代も多いのではないかと思います。人口増加のためには、このような医療体制の強化が非常に重要だと思う。診察までの待ち時間が長く状況を改善してほしい。高齢の医師が多い状況で、若い医師が働きたくなる環境整備が必要だと思う。若い世代や親の世代が安心して医療を受けられる環境を整備することで、暮らしやすい環境が整い、移住者や人口の増加にもつながると思う。</p>	<p>開業医の閉院等により、地域の医療環境は厳しい状況になってきていると認識をいたしておりますが、住民の受診機会の確保と地域医療を担う医療機関を守るため、健康増進事業の各種取組を推進しながら、久慈医師会及び医療機関と連携した取組を実施し、市民の健康意識の醸成を図り、健康づくりに努めてまいります。</p> <p>医師確保につきましては、これまで、県と市町村の協同で「岩手県市町村医師養成事業」を行い、県立病院等で地域医療に従事することを希望する方に修学資金の貸付けを行っているほか、養成医師の当市への配置に向け、県及び岩手医科大学等に対し繰り返し要望してきたところであります。</p> <p>今後におきましても、医師の地域偏在や診療科偏在の解消等、地域医療の確保に向けた関係機関への要望活動を粘り強く取り組んでまいります。</p>	B	生活福祉部	保健推進課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
18	要望	3	<p>去年受診した人には封筒で受診票が送られ、検診時に「次の年にどの検診を受けるか」を申し込む仕組みになっている。しかし、やり方が変わったことで、封筒を不要なものと勘違いし捨てようとする高齢者など、混乱する人もいるようだ。封筒代や切手代の高騰によりペーパーレス化が進むのは仕方ないが、封筒をより目立つ色に変更するなどの工夫が必要ではと思う。</p>	<p>検診関係の封筒や内容物については、わかりやすい色やデザインにできるように内部で相談しながら工夫してまいります。</p> <p>また、受検票など検診関係のものを誤って紛失・破棄してしまった場合や、申込を忘れた際には、検診期間終了までにお早めにご連絡いただければ、再度お渡しいたしますので、気軽にお問い合わせください。</p>	B	生活福祉部	保健推進課
19	要望	2	<p>子育て支援に関して、久慈市では第1子の0～3歳の保育料が有料となっているが、宮古市では0歳から保育料が全員無料とのこと。同様の取り組みが久慈市でも導入されるとありがたい。</p> <p>子どもが1人おり1歳のときに保育園に入所させた。そのときの保育費用が4万8千円ほどかかり、かなり負担が大きかった。仕事は続けたいけれど、保育園に通わせるよりも家で自分が育てた方がいいのではないかと葛藤もあった。3歳になってやっとその負担が軽くなったが、1歳から3歳までの費用についても少し手当がいただくと、より働きやすくなり、久慈市に貢献できると感じる。2人目の子どもの保育料がかからない制度があると聞いた。そうしたサポートがあることで、安心して仕事と育児の両立ができると感じている。</p>	<p>保育料に関しては、久慈市でも段階的に無償化を進めており、令和5年度からは第2子以降の3歳未満児の保育料を無償化し、以後、保育料がかかるのは、第1子の3歳未満児のみとなっています。</p> <p>保育料の完全無償化を求める声は非常に多く、また、市としても子育てに関する経済的負担の軽減は重要な子育て支援であると捉えていますので、財政状況を勘案しながら、市民の皆様の子育てに関する負担の軽減に、今後とも取り組んでまいります。</p>	B	生活福祉部	子育て世代包括支援センター
20	意見	1	<p>今の物価の高さもあって、子どもを育てるのはなかなか大変だと感じる。2人目以降の子育て支援制度は手厚くなっているが、そもそも「子どもを持ちたい」と思えるような、1人目の子育てを後押しする仕組みがあると、「久慈市は他の市町村とは違うな」と感じてもらえるのではないかと。</p>	<p>現在、全国的に少子化が進行しており、これには、子育てや結婚に関する価値観の変化や都市部への人口集中、共働き世帯の増加や核家族化、晩婚化など、様々な要因があるものと捉えております。こうした状況の中で、まず「子どもを持ちたい」と考える方を増やしていくことは大変重要なことと考えておりますので、第一子の子育て支援サービスの充実などに取り組んでまいります。また、市だけで対応できることには限りがありますので、併せて、国や県に対し、全国どこでも十分な子育て支援を受けられるような体制の整備について要望してまいります。</p>	B	生活福祉部	子育て世代包括支援センター
21	要望	1	<p>保育園の不足や保育士の不足について耳にする。久慈市では高齢者の割合が高いこともあり、そちらへの支援が重要だとは思うが、そうすると若い人たちが減少し続け、最終的には久慈市の人口減少が進んでしまうと思う。若い人たちを呼び寄せる施策にもっと力を入れてほしい。</p>	<p>当市においては、保育園や保育士の不足は生じておらず、むしろ未就園児数の減少により、閉園となる保育園が生じている状況にあります。若年層への支援の充実は、少子化や人口減少に対し大変重要であると認識しておりますので、若い人材を呼び寄せる施策の充実強化に取り組んでまいります。</p>	B	生活福祉部	子育て世代包括支援センター
22	意見	1	<p>若い人たちが結婚しないという現状がある。結婚しなければ、当然子どももできない。そのため、育児に関するサポートや、婚活において若い人たちの出会いの機会をもっと積極的に提供することが重要だと思う。彼女や彼氏が欲しいと思っているけれど、どこで出会いを作ればいいのか分からないという声も耳にする。もっと若い人たちの出会いの場を作ることが大切だと感じている。</p>	<p>結婚支援イベントを実施する民間団体等に対する補助金制度もありましたが、コロナ禍により活動する団体もなくなってきたところであります。現在は、会員登録制により1対1の出会いの機会を提供している「いきいき岩手結婚サポートセンター」(i-サポ)への入会登録料を全額補助しており、二十歳の集いでリーフレットを配布し、周知を図っております。引き続き、若い人たちへの周知を図ってまいります。</p>	B	生活福祉部	子育て世代包括支援センター
23	意見	1	<p>民間の保育園に老人ホームが併設されている場所が多いのも良い点だと思う。例えば、ひばり保育園が療護園と隣接していたり、野田の保育園も同様です。このような場所で、世代間の交流が促進されるとお互いにとってプラスになると思う。</p>	<p>市といたしましても、保育園や老人ホームなどの世代間交流は、互いにとって、また地域にとっても大変有益なものとして認識しております。今後におきましても、異なる世代を対象とした施設間の交流の促進に取り組んでまいります。</p>	B	生活福祉部	子育て世代包括支援センター 地域包括支援センター

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
24	意見	1	また、私の祖母は現在デイサービスを利用しているが、高齢者が増える中で、今でも数ヶ月待ちという状況。こういった施設が増えることによって、雇用の増加にもつながると思う。雇用の増加が人口増加に繋がるのではないかと思いながら、資料を拝見した。	介護サービスにおける施設利用待機者につきましては、令和7年度、久慈広域管内に特別養護老人ホームが新設される予定となっており、これにより待機者については一定程度解消されるものと期待しているところです。 また、施設が増えることにより雇用の創出と人口増加が見込まれますが、当市では、人口減少や高齢化率の上昇による生産年齢人口の減少、労働力の確保が厳しい状況となっています。魅力ある雇用情報の発信、UIターン希望者等の地域への誘導や新規高卒者の地域内就職を図ることにより、雇用と人口の増加につなげてまいります。	B	生活福祉部	地域包括支援センター
25	意見	1	駅前のビルについて、外壁が落ちているのを見て心配になる。何かイベントをするには良い場所だと思うが、再開発が進み、さまざまな店が入るようになれば良いと感じる。更地にして駐車場を作るのも一つの方法かもしれない。駅周辺には駐車スペースが少なく、店舗の集客が難しいと思う。閉店が続くのではないかと心配。また、祭りの前夜祭で山車が集まった際、場所が狭く感じたので、更地にし、もっと広いスペースでイベントを開催すれば、来場者が増えた時に安全面でも問題が減ると思う。	駅前ビルをはじめ、古い建物が多く残っていますが、日本では、所有者が解体するのが原則となっており、これらは所有者の責任で解体されるものとなります。行政代執行という手続きもありますが、駅前ビルの解体には多額の費用がかかるとされ、その場合、久慈市が解体を行った費用を所有者に請求することができます。しかし、これまで全国の事例を見ると、所有者から費用が支払われない場合が多く、その場合は市民の税金で負担することになります。 もし久慈市が駅前ビルの解体を進めた場合、他の所有者からも「自分たちの建物も解体してくれるのか？」という声上がり、市民全体の負担になりかねません。解体に使うよりも子育て支援や生活支援など、市民にとって有益な支出に充てたいと考えています。 最も望ましいのは、所有者が自分で解体を進めることです。しかし、所有者が動かない限り解体は難しく、仮に市が支出するとなれば他の重要な事業への支出が難しくなります。このことから、現在の市の考えとして、解体する場合は所有者の負担で行われるべきものと捉えています。 子供の保護者の皆さんから、屋内で子どもが遊べる施設があればいいねという話をいただくことがあります。イオンのような施設があれば、その中に遊ぶスペースをテナントとして設けることができるため、過去にイオンにも声をかけたこともありますが、商圈人口の問題により出店は難しい旨の回答を受けております。	E	産業経済部	商工観光課
26	意見	1	私自身、久慈に来て気づいたのは、こんなに焼き鳥屋さんが多いこと。以前、種市に住んでいたこともあるが、種市には焼き鳥さんがほとんどなく、宮古に住んでいたときも同じような状況だった。地元の方々はあまり気づいていないかもしれないが、久慈にはたくさんの魅力があると思う。ぜひ、その魅力をPRしていただければと思う。	久慈市には、海や山など豊富な自然環境の恵みを受けた食文化があり、魅力の一つと認識しています。今後も、観光ガイドブックやホームページ、SNSでの情報発信について取り組み、魅力の発信を進めていきます。	B	産業経済部	商工観光課
27	意見	1	久慈市民市場は寂しい印象があり、営業していないお店も多いような印象も受ける。市場がもっと活気づく場所になってほしいと思う。細かい食材を買いそろえたいとき、市内では土風館や花野果などがあるが、ユニバースのようなスーパーに頼ることもある。どうしても選択肢が限られてしまう。特に鮮魚を買いたい場合、久慈市民市場では手に入りやすく、野田村や階上町まで行ってみたりとかになる。活気のある市場が近くにあればと感じている。	久慈市民市場は(株)久慈物産市場が管理運営を行い、テナントに出店区画の貸出を行っています。現在も様々な業種のテナントが出店していますが、店主の高齢化などから撤退するテナントも散見され、一時は鮮魚を取り扱うテナントが全て撤退した時期もありました。 現在は鮮魚を取り扱うテナントが新たに増えましたが、依然として空き区画が存在しており、更なる改善が必要な状況と捉えています。 久慈市民市場は市民の台所としての役割のほか、交流人口拡大の一助となることが期待される施設であると認識しておりますことから、施設を管理運営する(株)久慈物産市場の支援を継続してまいります。	B	産業経済部	商工観光課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
28	要望	1	私はいわて北三陸の担当をしている。夕方になるとお客様が少なく、スタッフは10人ほどいて時間ももったいないと感じている。開店時間を早めて（その分早く閉店するなど）、明るいうちに多くの方に来ていただく方が良いのではないかと、という意見をテナントの方から聞くこともあり、その意見には共感する部分があった。	現在の開館時間については条例に定めた基準に沿って決められておりますが、施設の設置目的である「情報発信や特産品販売を通じた地域の活性化」の達成に向けて、常に最善策の検討が求められるものと認識しております。 開館時間の変更については慎重な判断が必要であると捉えておりますことから、季節や時間帯などが利用者数に与える影響について、物販・加工・飲食施設を利用する事業者の方々や指定管理者と連携して分析を行い、施設運用の効率化を図ってまいります。	B	産業経済部	商工観光課
29	意見	2	去年、久しぶりに秋祭りの前夜祭を見たが、その時に「久慈市にこんなに人が集まるのか」と驚いた。あんなに多くの人がある光景を見て、「お祭り以外にも大きなイベントがあればもっと観光客が集まり、地域の経済が活性化するのではないか」と感じた。久慈の産業まつりは毎年多くの人を訪れるが、これを年2回に増やすなど、より多くの機会を作れば集客の増加が期待できると思う。	交流人口の拡大や地域経済の活性化を図るため、イベント開催は有効な手段であると捉えています。開催時期及び内容の検討については、財政状況等を見定めながら、各種イベントの実施主体等と連携して引き続き取り組んでまいります。	B	産業経済部	商工観光課
30	意見	1	海がみられるダムがあるという点にはあまり見られないので、観光資源として非常に貴重だと思う。また、石油基地の夜景がとてもきれい、久慈市の海も非常に美しいと感じている。ただ、野田村の久喜や十府ヶ浦のように、ゆっくりと海を眺められる場所が少ないことが少しもったいないと感じる。市内でも海を見られる場所がもう少し増えると、さらに魅力的な観光地になると思う。	滝ダムは、岩手県が管理をしている全国でも珍しい海が見えるダムであり、市内観光ガイドマップにも景勝地として掲載しているところです。 この他にも、海が見える場所については、久慈港シーサイドパークなどの港湾エリア、もぐらんぴあや小袖海女センター、横沼展望所や北侍浜野営場などがあり、魅力を知っていただくようPRを進めていきます。	B	産業経済部	商工観光課
31	意見	1	説明資料の「太古ロマンまちづくり」の推進に関して、恐竜博物館の設立を強く望んでいる。調査の中で恐竜を活かしたまちづくりを行っているアドバイザーから、恐竜博物館がゴールではなく、訪れた人々にさらにお金を使ってもらえる仕組みを考えるべきだというアドバイスをいただいた。具体的には、ホテルの増設や2次交通の整備、ショップなどでお金を使ってもらえる仕組みが重要だとのこと。このような観点から、ホテルの増設などの取り組みを進めていただければと思う。	恐竜博物館の設立により交流人口の増加や研究機関の誘致、独自性の高い教育環境の整備など多くの波及効果が期待されます。 市単独での設立は困難であることから、県に対して設立を要望してまいりました。 今後も要望を続けるとともに設立の後押しとなる発見がなされるよう、調査団の支援をしてまいりたいと考えております。 また、ご提言のとおり設立の効果を市内に還元するためには宿泊施設や2次交通の充実など、波及効果を最大限に享受するための施策が必要と考えておりますので、恐竜博物館の設立に向けた取り組みと併せて研究し、官民連携し機運の醸成が図られるよう取り組んでまいります。	B	総合政策部 産業経済部	政策推進課 商工観光課
32	意見	1	宿泊施設がないため、八幡平や八戸、二戸に泊まってから立ち寄る観光客も多い。例えば、空き家を改装し、若者向けに低価格で宿泊できる施設を整え、自炊しながら地域観光を楽しめるような、空き家を活用した短期滞在型の宿泊施設があると良いのではないかと感じた。移動手段にレンタカーを提供すれば、観光客が自由に巡りやすくなり、地元の方々との交流も促進されるだろう。 「見る」「体験する」観光の形が生まれれば、訪れる理由が増え、より魅力的な街になると思う。	現時点で、空き家を宿泊施設として活用する体制は整っておらず、当面実現は難しいところではありますが、山形町の平庭山荘には自炊可能なコテージを有しており、拠点としての活用が可能であると考えております。また、付近にはラインクライミングやトレッキングを楽しめるポイントもあるほか、郷土料理づくり体験を受け入れている団体もあることから、引き続き、観光資源のPR、誘客の拡大に努めてまいります。	B	産業経済部	商工観光課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
33	意見	1	<p>東京方面から親戚が訪れるとき、浜の幸を目当てに来ることが多い。都会にはショッピングセンターが多くあるので、久慈は久慈ならではの魅力をもっと打ち出していくべきだと思う。久慈の特産品は海の幸だけでなく、山の木ぶどうなども非常に魅力的。親戚も「ワインに近い風味でとても良い」と気に入ってくれた。こうした“ここにしかない”ものをもっとアピールすれば、地域経済活性のきっかけになると思う。</p> <p>アピールがうまくできていないのが課題かもしれない。岩手の特産品フェアで購入した商品が美味しくて、『送ってほしい』と親戚から頼まれたこともある。美味しくて体に良いものが多いので、もっと幅広い世代に響くようなプロモーションができればいい。例えば、アニメや地元の人気者を活用するのも一つの方法。</p> <p>交通の便も課題。久慈まで来るのに時間がかかるため、限られた日数では他の場所まで足を延ばすのが難しい。交通網の改善が進めば、地域の魅力をもっと活かせるのではないかと思う。</p> <p>交通の利便性と地域の魅力がうまくかみ合えば、沿岸地域全体を巡る観光ルートも可能になり、久慈だけでなく、岩手の沿岸全体にお金を落としてもらいきっかけになるのではと思う。</p>	<p>久慈市では、久慈市観光物産協会と連携し、全国で特産品のPRを行っているほか、ホームページやSNSなどを通じての情報発信を進めているところ。幅広い世代に情報が届くよう、お土産品の取扱い事業者とも連携しながら取り組みを進めていきます。</p> <p>また、三陸沿岸道路を軸として、三陸鉄道やJR八戸線をはじめとする交通事業者と連携した交通の利便性の確保と、三陸沿岸の自治体と連携した観光ルートの設定等による、地域経済の活性化についても実現に向けて取り組んでまいります。</p>	B	産業経済部	商工観光課
34	意見	1	<p>久慈には、山ぶどうや琥珀、白樺といった特産品があるし、滝ダムのようにダムから海が見える珍しいスポットもある。三陸鉄道など、魅力的な要素がたくさんある。そうした魅力がうまく伝わっておらず、爆発的なインパクトに欠けているのではと感じる。</p> <p>久慈のイメージを聞かれても「あまちゃんは有名だよ」という印象で、琥珀や白樺といった特産品を知っている人は意外と少ない。久慈には本当に良いものが多いので、そうした魅力をもっと強くアピールし、「久慈といえばこれ！」というイメージを作ることが大切だと思う。</p> <p>琥珀のプレスレットは若い世代にはあまり馴染みがないが、若者向けにネイルチップなどの新たな商品を開発すれば、琥珀をもっと身近に感じてもらえるのでは。特に、東京などの都市部では美容に関心のある人が多いので、そうした層にアピールできる商品があると良いと思う。</p> <p>インフルエンサーが発信することで、より多くの人に伝わる効果も期待できる。例えば、岩手出身の大谷選手が「岩泉ヨーグルト美味しいよ」の発信みたいに人気爆発的に高まるかもしれない。盛岡市が芸能人を観光大使に起用したように、久慈でも顔の利く方を起用し、SNSなどを活用した効果的な情報発信を行うことが重要だと思う。</p> <p>観光大使のような存在も久慈市のイメージにぴったりだと思う。例えば、岩手県内でも「マジカルカップちゃん」のようなキャラクターが人気。私が八幡平に行った際も、観光大使としていた。</p>	<p>久慈市は、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のメインロケ地となったことから、その知名度を最大限活用したPRを進めているところ。</p> <p>市には、「日本一の白樺美林」や全国屈指の採掘量を誇る「琥珀」などの観光資源、豊富な自然環境から得られる「食文化」があり、「あまちゃん」をきっかけとして、知ってもらえることができる機会と捉えているところ。合わせて、幅広い年齢層に関心を持ってもらえる商品開発に向けて市内事業者と連携し取り組んでまいります。</p> <p>また、著名人を活用した情報発信については、「あまちゃん」でヒロインを務めたのんさんを起用した「第2のふるさとプロジェクト」を実施しており、キャンペーンポスターの制作や公式グッズ、SNS等を活用した情報発信に努めているところあり、引き続き、久慈市の観光資源や魅力を広くPRしてまいります。</p>	B	産業経済部	商工観光課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
35	意見	1	野田村の十府ヶ浦周辺に人気のドッグランがある。犬にはドッグランの好き嫌いがあるそうで、利用者が多く混雑している。市内に新たなドッグランを整備するのも良いと思う。県外から訪れる方がドッグラン利用後に食事や買い物をするので、地域にお金が落ちる流れが生まれるのではないのでしょうか。	現在、市内の公園等にドッグランを設置する計画は持ち合わせておりませんが、ドッグランについては、愛犬を飼われている方々のニーズや観光客の滞在時間の増加の可能性、犬の飼い主とその他の利用者との軋轢の軽減、犬の飼い主のマナー向上やコミュニティの場の形成などさまざまな効果が期待される施設であると考えられます。 今後、施設の建設や公共スペースの整備を進める際には、市民の皆様のご意見も参考にしながら、関係機関と情報共有を行い、その必要性について検討してまいります。	C		
36	要望	1	久慈市の良いところとして、スキーを楽しみたいと思えば平庭があり、海水浴をしたいと思えば海も近くにある点が良いと感じている。しかし、舟渡や侍浜などの海水浴場では、海水浴後にシャワーを浴びるための施設が洋野町のように整備されていないため、実際に泳ぐとなると不便。そのため、私はよく洋野町に行っている。また、キャンプ場も洋野町の方が整備されているので、そういった施設の整備を久慈市でも進めていただければと思う。	久慈市には、舟渡海水浴場、侍浜海水プールの2つの海水浴場を設置しているところです。舟渡海水浴場には、夏季に設置する屋外シャワー場の他、隣接する舟渡レストハウスにおいて、更衣室や温水シャワーが利用でき、侍浜海水プールについてもコイン式シャワー室が設置されています。 今後も、利用者が施設を利用しやすい環境に整え、利用者の拡大に取り組んでまいります。	B	産業経済部	商工観光課
37	意見	2	ゴールデンウィークやお盆の時期に、道の駅北三陸からもぐらんぴあ、海女センター、土風館、久慈駅、久慈琥珀を結ぶ観光施設を巡る巡回バスがあれば、観光客にとって非常に便利だと思う。実際、訪れたお客様から「バス停から歩くのが大変だった」「久慈駅からバスが出ていけばもっと買い物できたのに」といった声もあり、繁忙期にはこのようなバスがあれば良いと思う。観光バスが動いても利用されないことあるが、告知不足が原因だと思う。毎年同じ時期に運行し認知されれば、「観光バスが便利だ」と認識してもらい、レンタカーを借りずにバスを利用する人も増えるのではないかと思う。バスガイドは必ずしも必要ではないが、観光地の案内があれば、単なる移動手段ではなく特別感が生まれると思う。地域で働ける場所を作りながら、市民みんなで活動し、久慈のファンを増やすことが重要だと考える。	観光施設を結ぶ二次交通については、旅行者のニーズが変化してきたことから、イベント等のニーズの高い事業に合わせて運行しているところです。 現在は、個人旅行者のニーズが高い、タクシープランを実施しており、自由に移動できることに加え、お買物券がついてお得に利用ができるため好評をいただいております。交通事業者とも連携しながら、運転手が観光地を紹介できる体制づくりとともに、久慈市民でのおもてなしにより、久慈市のファンを増やす取り組みを進めてまいります。	B	産業経済部	商工観光課
38	意見	1	自分の周りを見てみると、男性の方が地元に残っている。それと同時に、男性の方が久慈の自然の楽しみ方を知っていることが多いと感じる。釣りやキャンプなどで自然で遊ぶことのハードルを下げるような取り組みがあればいいのではと思う。例えば、釣りにフォーカスした釣り堀など、誰でも楽しめるような施設や活動があればと思う。	久慈市には豊かな自然があり、これらを活かしたトレッキングやラインクライミングなどの体験プログラムを受入団体を通じて提供しているところでもあります。釣り堀のような施設整備は難しいところですが、引き続き、交流人口の拡大につながる取り組みを進めてまいります。	B	産業経済部	商工観光課
39	意見	1	久慈市は、盛岡にはない海があり山もあり、畜産や水産などの特産物も豊富。そうした魅力をもっとアピールすれば、外から人を呼び込めるのではないかと考えている。また、営業の仕事では「木炭の現場をぜひ見に来てください」とお客様にお声がけすることがあるが、冬場は「車で行くのが難しい」「時間がかかる」といった声も聞かれる。そうした課題もあるが、久慈ならではのゆったりとした時間を楽しんでもらえるような環境づくりが進めば、都会の慌ただしさから離れた人々たちにとって魅力的な場所になるのではないかと思う。	「山形村短角牛」「久慈育ち琥珀サーモン」といった特色ある産物も豊富にあると認識しており、他にも日本一の白樺美林や闘牛大会、べっぴんの湯などの観光資源を数多く有しています。教育旅行にも活用している自然を活かしたアクティビティ体験メニューのほか、温泉施設などでゆったり過ごしていただけるよう、素材のブラッシュアップと積極的な魅力発信に努めてまいります。	B	産業経済部	商工観光課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
40	意見	1	資料1ページに書かれていた気候についてだが、「夏涼しくて冬暖かい」という点は、地元の方々が意識していないかもしれないが、実はとても良いPRポイントだと思う。これを外部にもっとPRしても良いのではないかと感じている。そうすることで、盛岡や内陸の人たちにも、久慈の気候の良さを知ってもらえると思う。	久慈市は、夏の冷涼な季節風（やませ）や冬の積雪が少ない地域のため、市外から訪れる観光客等にも好評であり、引き続きその特性を生かしたPRの機会を増やし、観光客の誘客に努めてまいります。	B	産業経済部	商工観光課
41	意見	1	休日に子どもたちと出かけようかとなったときに、北上市、一関、県南、宮古などには出かけることが多い。それを考えた時に、久慈市に大きな観光スポットや魅力的な施設があれば、選択肢として考えやすくなるのかなと感じた。資料を見たときに、例えば林業が盛んな地域で炭やお肉、海産物が豊富にあるという点から、バーベキューができる大規模なスポットがあれば、家族で食べて飲んで泊まって、一泊してから帰るというような形が実現できるのではないかと考えた。そういった施設があれば、久慈に対する新たな魅力が生まれるのではないかと感じた。ですので、こうした大規模な観光スポットの検討も必要なのではないかと考えている。	久慈市内には宿泊・入浴施設やもぐらんぴあ、沿岸唯一のスキー場である平庭高原スキー場など多様な施設があり、また、琥珀の発掘体験や、シャワークライミングやカヌーなど自然体験の提供もされています。平庭高原のセンターハウス平庭山荘では、隣接する旅行村コテージの敷地内や近接の屋根付き施設で、バーベキューを楽しんでいただけます。 新たな大規模観光スポットの整備に取り組むのは困難な状況ではありますが、地元の山形村短角牛や木炭を使用したバーベキューイベントや、東北唯一の平庭闘牛大会など特色あるイベントも開催しておりますので、ぜひ足をお運びいただければと思います。	C	産業経済部	産業建設課
42	意見	1	白樺の美しい景観を活かしたマラソン大会を開催し、参加者が近くの温泉や飲食店を利用するような仕組みを整えれば、地域経済の活性化につながると思う。	県立自然公園に指定され、31万本の白樺が美しい平庭高原は、宿泊・入浴施設やパークゴルフ場、スキー場が整備されており、市外からの教育旅行の受入や、登山や散策・ウィンタースポーツ等の愛好者、平庭高原まつりや平庭闘牛大会、平庭高原スキー場まつりなどのイベントへの観光客など、年間を通じて多くの人々が訪れる市の重要な観光資源になっておりますが、寿命80年から100年といわれる白樺林が寿命を迎え、倒木や危険木が増えてきており、現在、関係団体等と連携しながら、白樺林の再生事業に取り組んでいるところです。このような状況を踏まえ、マラソン大会の競技運営方法やコース設定を検討するのは困難な状況ではありますが、引き続き、平庭高原の振興による地域活性化に取り組んでまいります。	C	山形総合支所	産業建設課
43	要望	1	久慈市にはマクドナルドがないが、代わりに久慈オリジナルの「くじマック」を作るのはどうか。例えば、山形の短角牛のパテや、久慈の農家が作ったほうれん草を使うなど、地元の素材を活かした商品を提供してはどうか。そうすれば、きっとメディアに取り上げてもらえると思う。「久慈にはマックはないけれど、くじマックがあるんだよ」と言えば、意外性があり、会話のきっかけにもなると思う。このようなアイデアを実現するためには、規模や実現方法を考えることが大切で、くじマックを提供するお店が市内に増えていく可能性はあるかもしれない。	現在市内には短角牛など地元素材を活用したハンバーガーを提供したり、または提供可能な店舗が数件あると捉えており、それらをご提案のありましたとおり総称することで広く認知され、販売や提供店舗が増加するような状況になれば、地元素材の消費拡大や地域活性化につながる可能性がある貴重なご意見だと考えますので、市観光物産協会など関係団体にも共有してまいります。	C	産業経済部 山形総合支所	商工観光課 産業建設課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
44	要望	3	企業誘致について、働くという点ではなく、例えばマクドナルドや飲食業などが来てくれると良い。若者や子供たちは、八戸のエリアで食事をしていることが多いので、そのお金が外に出ていってしまっている。過去に久慈にもあったので、再び誘致できるのではないかと思う。今、求められている食事のニーズを把握し、そういった企業を誘致できれば、久慈で食事をする場所が増えて、地元での消費が促進される。特に、若い人や子育て世代がマックに行き子どもと食事をするような、そういった小規模な企業が進出してくれると良いと思う。子育て世代をターゲットにした、若い世代も利用できるような施設が必要だと思う。	企業の出店には商圏人口が重要となることから、企業が出店を検討できる環境を整えることが重要と考えております。このことから、人口減少を克服し活気ある町づくりを行うために、洋上風力発電の事業化の推進などを行いながら、地域経済の活性化を図っていきたく考えています。	B	企業立地港湾部	企業立地課
45	意見	3	地元就職したが、友人の多くは東京などに行くことが多く、私のように地元に残ったのは少数派だと思う。高校卒業後、専門学校や大学に進学することがほぼ一般的となり、若い人たちが一度地元を離れるきっかけになっている。盛岡、八戸、東京などに行くと、そちらの生活に慣れて戻ってこなくなることも懸念される。そういった人たちのためにも、Uターンを促進する施策や、若い人たちを引き寄せるような企画が必要だと思う。	地元に残る若者を増やすため、また、進学等で一度久慈市から出た方においてUターンして地元で就職してもらうための取り組みとして、市内中学校2年生を対象に、地元の企業のブースを設けて講義を行う「キャリアオーケストラ」や実際に企業で3日間職場体験をしながら仕事を学ぶ「社会体験WEEK」を実施しています。 このほかにも、地元の企業の魅力向上について、コンサルタントを派遣する事業なども実施しながら、地元で働きたいと思ってもらえるような環境づくりを進めてまいります。	B	企業立地港湾部	企業立地課
46	質問	1	若い人たちが就職や新学期を機に県外に出ていく割合が多い。それに対して、対策や何か考えていること、または予定があれば教えていただきたい。	地元に残る若者を増やすため、また、進学等で一度久慈市から出た方においてUターンして地元で就職してもらうための取り組みとして、市内中学校2年生を対象に、地元の企業のブースを設けて講義を行う「キャリアオーケストラ」や実際に企業で3日間職場体験をしながら仕事を学ぶ「社会体験WEEK」を実施しています。 このほかにも、地元の企業の魅力向上について、コンサルタントを派遣する事業なども実施しながら、地元で働きたいと思ってもらえるような環境づくりを進めてまいります。	E	企業立地港湾部	企業立地課
47	意見	1	中学校からのキャリア教育への取り組みが他の地域よりも強いと感じている。そのキャリア教育が、中学校から始まり、学年を経てそろそろ効果が出るのかという話を聞いたので、今後も続けていっていただければと思う。	久慈市では、市内中学校2年生を対象に、地元の企業のブースを設けて講義を行う「キャリアオーケストラ」や実際に企業で3日間職場体験をしながら仕事を学ぶ「社会体験WEEK」を実施し、地元の企業を若いうちから知ってもらう取り組みを行っております。 なお、令和7年度からはこの取り組みを久慈広域市町村で連携して行うこととしており、更に充実したものになるよう進めてまいります。	A	企業立地港湾部	企業立地課
48	意見	1	新卒者雇用奨励金は、とてもありがたい。	地元企業において、人材確保が非常に難しい状況にあると認識していることから、市といたしましては、企業の魅力向上のサポートや新卒者雇用奨励金の活用を促しながら、地元企業への就職や定着を支援してまいります。	E	企業立地港湾部	企業立地課
49	質問	1	Kターンの大卒の方への奨励金が廃止された理由についてお伺いしたい。	Kターン奨励補助金を受給した方々にアンケートを取ったところ、この補助が地元に戻る決定的な要因にはなっていなかったという結果が出たところであり、財政状況も勘案し廃止に至ったものであります。	E	企業立地港湾部	企業立地課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
50	要望	1	広報に看護師向けの奨学金制度が紹介されていることがあるが、同様の支援制度を林業、農業、建設業にも導入していただけると嬉しい。久慈市には林業や農業、建設業などさまざまな産業がある。市内の建設会社からの寄付を募るなど、こうした支援制度があれば、地元の若者がこれらの業界に進むための励みとなり、地域の発展にもつながると思う。	岩手県においては、いわて産業人材奨学金返還支援制度により、認定企業に就職した学生の奨学金を補助する制度を設けていることから、久慈市内の企業に対してはこの制度の利用を促しております。ご提言のあった久慈市独自の制度については、同制度の状況をみながら、検討してまいります。	C	企業立地港湾部	企業立地課
51	意見	1	洋上風力発電の話題で「これが実現すれば大きな変化がある」と期待する声も多い一方で「自分たちが直接関与するのは難しいのではないか」「大手企業が中心になるだろう」といった声も聞かれる。洋上風力発電に関してどのような仕事があり、どのように自分たちが関われるかを各企業で考えていくことが大切だと感じる。実現は来年や再来年ではないかもしれませんが、今のうちから「この仕事に対応するために資格者を増やそう」といった取り組みを進め、事業が本格化した際に「うちの会社でも対応できる」と言える体制が必要だと思う。そのためには、市内の事業者の皆さんに対し「この発電事業にはこうした仕事があります」と具体的に伝え、周知していく活動が重要。そうすることで「この仕事なら自社でも対応できそうだ」「何とか関わってみよう」といった意識が高まり、地元企業の参画が促進されるのではないかと感じる。	洋上風力発電の実現に向けて、現在久慈市は「準備区域」にあり、次のステージに進むために県と協力して働きかけを行っているところです。洋上風力事業が実現される場合に、地域の企業がその事業に携われるように商工会議所主催で発電事業者を招き、協力の具体的な方法を話し合ったり、先進地の視察を計画するなど、新たな事業として地元企業に関心を持ってもらうことを目指しています。市としては、発電事業者に対し地元への配慮も求めているほか、地元企業の気運の醸成に取り組んでいくとともに、先進地の人材育成に関する取り組みなども研究してまいります。	B	企業立地港湾部	企業立地課
52	要望	1	市内の講座では簿記の資格などは取得できるが、調理系の資格やその他の興味のある資格を学べる場所が少ないと感じる。こうした資格を学べる科目を増やすことで、市民のキャリアアップにつながり、地域の活性化にも貢献するのではないかと感じる。	市内に職業訓練協会があり、求職中の方や在職者を対象とした各種講習を行っています。現在提供されている講座は、建築や左官、パソコンを使った講座などがあり、多くのニーズに対応できていない部分もあることから、いただいた要望については同協会と共有し、検討してまいります。	C	企業立地港湾部	企業立地課
53	意見	1	「タイミー」などの単発バイトアプリを活用し、久慈市でも働ける場所を提供できるのではないかと感じる。特に、長期休暇中に帰省した大学生や、スポットで働く人が活躍できる場を作ることで、人手が不足している業界を支援することができる。こうした環境が整えば、久慈市に定着する社員やアルバイト・パートが増えるのではないかと感じる。	多様な雇用の場の創出は人口減少対策の観点から重要なものと認識をいたしておりますことから、市内事業者における雇用環境の改善に向けた取り組みについて、情報収集してまいります。	E	企業立地港湾部	企業立地課
54	意見	1	三陸道が通ったおかげで、これまで県内では大型客船の乗客が宮古や大船渡周辺でしか観光できなかったのが、今では久慈まで来ることができるようになっている。移動時間が90分以内、2時間以内でアクセスできるというのは大きなポイント。久慈から盛岡までの内陸道路の整備がうまくいけば、90分以内のアクセスが実現でき、日常的な移動やビジネス、インバウンド観光の呼び込みにも大いに貢献できると感じている。ぜひ、インフラ整備や内陸道の整備を進めていただければと思う。	「岩手県新広域道路交通計画（令和3年_岩手県策定）」において、久慈～盛岡までを結ぶ国道281号に重ねる形で将来の高規格道路を目指す構想路線として「（仮称）久慈内陸道路」が位置付けられました。現在は、案内～戸呂町口間に急カーブを解消するためのトンネル整備が進められています。市といたしましては、引き続き、久慈～盛岡間を最速・最短で結ぶ国道281号の整備促進と「（仮称）久慈内陸道路」の高規格道路への指定に向けて、県や国に対し要望を続けてまいります。	C	建設部	建設企画課
55	意見	1	三陸道ができて便利になったと感じているが、降り口がスーパーと直結していない点や、市内に向かうために細い道を通らなければならない点が少し残念に思う。もし、降り口とスーパーや小売店を繋ぐ道や、宮古市の三陸沿岸道路のようなジャンクションが281号線近くに整備されると、さらに便利になるのではないかと感じる。	三陸沿岸道路が開通し、物流の効率化や農林水産物の鮮度保持、観光振興などさまざまな効果が発現しています。さらに三陸沿岸道路が国道281号等と有機的に接続されることで人やモノの動きが活発化し、地域経済の活性化なども期待されます。市といたしましては、三陸沿岸道路の利便性の向上や機能強化の推進に向けて国に要望するなど、引き続き取り組んでまいります。	C	建設部	建設企画課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
56	質問	1	久慈はシロアリが発生せず、風通しが良く乾燥していて過ごしやすい。虫が少なく、夏は快適で、冬も暖房を使えば快適に暮らせる。このような利点を踏まえ、空き家の情報について伺いたい。	空き家の利活用を図るため、久慈市でも空き家バンクを設置しております。これまでも久慈市の空き家バンクを通してマッチングした事例があり、現在、10件の空き家が登録されております。 今後も継続して、空き家バンク制度や久慈市が実施している移住支援策の周知を進めるとともに、気候の良さなどの久慈市の良いところをPRして、移住者の獲得を推進してまいります。	E	総合政策部	地域づくり振興課
57	意見	1	通勤途中、空き家や廃墟が目につくようになった。最初は気になっていたが、次第に見慣れてしまった。この状況が改善されることを願っている。	市といたしましては、平成28年度に市内の空き家の実態調査を行ったうえで、所有者に対し適正管理に努めていただくよう継続的にパンフレットの送付を行っています。また、空き家の適正管理の啓発を目的として、固定資産納税通知書に啓発チラシを同封する等の対策も行っているところであり、引き続き課題意識をもって空き家問題に取り組んでまいります。	B	建設部	建設企画課
58	意見	1	久慈市では賃金が低いという問題があり、就職説明会に参加していると、高校生や専門学生から、久慈市では賃金が低いという話を聞くことがある。学歴に見合った評価をしてくれる企業が少なく、戻ってくるのが難しいという声を聞く。中小企業庁のアンケートでは、賃上げを求める声が多いが、地方の企業の多くは難しいところがあると思う。 建設業は人手が必要な業種のため、工事の発注数が増えれば若い作業員が集まり、ホテルに宿泊することで、交流人口の増加にもつながるのではないかと感じている。建設業の人員需要は一つのキーになると考えている。	市では、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策と連携した道路施設の老朽化対策や、通学路の安全対策などを中心に建設工事の計画を行っているところであり、特に、道路施設の老朽化対策につきましては、高度成長期に集中的に整備されたインフラの老朽化が一斉に進行していることから、計画的な対策を実施しているところであり、建設工事の発注数の増加のご提言につきましては、市の財政状況を勘案し検討してまいります。	B	建設部	建設整備課 企業立地課
59	意見	2	子どもたちが遊ぶ公園が不足していると思う。大規模な公園が整備されると、子どもたちが集まり、その周りに大人も自然と集まるようになり、飲食店や店舗ができ、賑やかさが増し、子どもたちが楽しめる場所としての役割が果たされるのではないかとと思う。 最近、北三陸に子どもが遊べる屋内施設ができたが、混雑していると親も一緒に見守る必要があり、広い屋内施設があれば便利だと思う。	市の供用している都市公園は、街区公園8箇所、近隣公園2箇所、緑地1箇所、総合公園1箇所の計12箇所となっており、財政状況を勘案しながら、ユニバーサルデザイン遊具の設置や老朽化した遊具の更新を行っているところです。	C	建設部 生活福祉部	建設整備課 子育て世代包括支援センター
60	意見	1	久慈市での生活の中で特に良いと感じているのは、公園が多く、子どもたちがのびのびと遊べる環境が整っている点。遊具の取り合いなどがなく、安心して遊ばせることができるのでとても助かっている。	今後におきましても、安全で快適な公園の利用ができるよう適切な維持管理に努めてまいります。	E	建設部	道路河川維持課
61	意見	1	滝ダムをもう少し観光地として活用できないかと思う。海が見える景色が素晴らしいので、その魅力をもっと引き出せたらいいなと。年に何回か自衛隊のヘリが来て、かなり低空で飛ぶことがある。なかなかこういった光景を観ることはない。三沢の航空ショーのように告知すれば、ヘリ飛行を見たい人にとっては貴重な体験になるのではないかと。	滝ダムは全国でも珍しい海が見えるダムであり、令和6年度には観光客に対する情報提供を目的として観光案内板「長内川流域ガイドマップ」が設置されています。市としても、市内観光ガイドマップに景勝地として掲載しているところですが、景観の素晴らしさや随時開催されている施設見学なども含めて滝ダムの魅力についてさらに情報発信していきたいと考えています。	B	産業経済部	商工観光課

No.	区分	件数	提言等	取組状況	対応	部	課
62	要望	1	現在、学校に柔道の指導者がいないため、一般の方に指導をお願いしているが、生徒の人数が少ないとその負担が大きくなってしまふ。過去には、父兄で協力して指導者の更新料を負担したこともあった。	市教育委員会では、中学校のニーズを踏まえながら、外部の方に部活動の指導をしていただく部活動指導員を4名配置しているところであり、現時点では、柔道の部活動指導員はおりませんが、もし指導いただける外部人材がいる場合は、学校と相談して部活動指導員とし配置することが可能となっております。今後も、本事業を広く周知しながら、部活動指導員を担っていただける人材の情報を集めてまいります。	B	教育委員会	学校教育課
63	要望	1	市営野球場のトイレが和式で、最近は和式トイレが減っており、見かけることも少なくなった。練習試合でも他の地域から来た子どもたちが困ることもあり、近隣店舗のトイレを借りることもあるのが現状。今の子どもたちは和式に慣れていないことも多いので、何とか洋式トイレに改修してもらいたい。	洋式トイレが主流となっていることは認識しておりますが、現在、施設の洋式トイレ化は、小中学校を優先しておこなっているところであり、また、久慈湊小学校など大型事業を進めており財政状況等から改修出来ていないところでもあります。引き続き、財源の確保に努め早期に市営野球場のトイレ洋式化ができるよう取り組んでまいります。	C	教育委員会	生涯学習課
64	要望	1	全国から集まる大会が久慈で開催された際、来た人が「電光掲示板じゃないんですね」と驚いていた。久慈の野球場は、スコアボードの数字を人が操作して表示する仕組み。「人が操作してるの？こっちからボタンで操作できないの？」と驚いていた。一戸町では最近、ボタン式の電光掲示板に改修したと聞いた。せっかくスポ少も頑張っているのに、野球に限らず、そういった設備を新しくしていき、もっと利用しやすい環境にできたらいいと感じている。	施設の修繕や改修についてではありますが、限られた財源の中で緊急を要するものなどを優先し計画を立てて取り組んでおります。このことから、体育施設の設備等が旧式タイプのものもありますが、今後におきましても利用者の皆様が利用しやすい環境づくりに取り組んでまいりますので、ご理解のほどお願いいたします。	C	教育委員会	生涯学習課
65	要望	1	市街地から離れた地域では小学校や保育園の減少が進んでおり、さらに中学校の統合も決まっている状況。そうした中で、進学先の学校を自由に選べるような対応があると助かる。	進学する中学校を自由に選択できるようにすることについては、特定の学校への入学希望が集中し偏りが生じることで、適正な規模での学校運営が難しくなることや、安全な通学の観点などから通学区（学区）を基本として就学する学校を指定しており、ご理解をお願いいたします。	D	教育委員会	教育総務課